

# 古代の港が古層に眠る町 西宮

2022. 11. 10

<参加メンバー> 7人(男性5人、女性2人)

<天候> 晴れ

## <コースタイム>

西宮北口駅前公園 9:20—10:05 広田神社—10:50 ニテコ池—  
名次神社—11:10 満池谷リックス層—11:30 西宮震災記念公園・  
火垂るの墓記念碑(昼食) 12:00—12:30 越水城址—12:40 越  
水井戸二か所—13:20 史跡往古武庫墓原郡界伝説地—13:50 西  
宮神社・大練堀—14:10 宮水発祥之地—14:20 白鷹緑水苑—  
15:15 海晴寺の大楠—15:20 阪神西宮駅 約13Km

## <山行の概要>

西宮は古代、内陸部に向けた大きな入海だった。北は広田神社の近くま  
で海が迫り、海岸線の北東～南西方向に崖が連なり崖の上には城が、崖の  
下には湧き水が何か所も湧いていたようだ。現在の西宮市役所あたりは入  
海に浮かぶ島であったらしい。そんな古代の風景を思い描きながら地形図、  
等高度線図を確認しつつ遺跡、歴史をたどった。最後は夙川の氾濫の砂礫  
層でろ過されミネラル分たっぷりの宮水で仕込まれた灘の酒が潤いを与え  
てくれたエンディングとなりました。



1. 古代、西宮は入海だった



2. 広田神社。海を臨む場所にあった。  
すぐ南に西国街道がはしる。



3. 本殿へ安全祈願に。



4. 境内の湧き水



5. ニテコ池。甲山を望む。



6. 満池谷リックス層。住宅街の中でここだけ凸  
地になっており地層が保存されている。



7. 氷河期の植物遺体を包含している。  
このあたりも寒冷時期があった証拠。



8. 西宮震災記念碑。1146人の犠牲者の名が  
刻まれる。



9. 「火垂るの墓」記念碑。野坂昭如兄妹の哀し  
い物語の舞台。



10. 越水城址。小学校の片隅に建つ。当時を偲ぶ石垣や城の建物は何も残っていない。



11. 越水の井戸二か所あり。崖の下にある。いまも清水が湧いている。越水は小清水の転訛とのこと。



12. 史跡往古武庫菟原郡界伝説地。すぐ近くを西国街道が通る。



13. 西宮神社南門と大練塀をバックに。大練塀の土はニテコ池から運んだ。ニテコは「ネットコイ、ネットコイ」の掛け声が訛ったとのこと。



14. 宮水井戸。灘の酒造メーカーはここから汲み上げている。



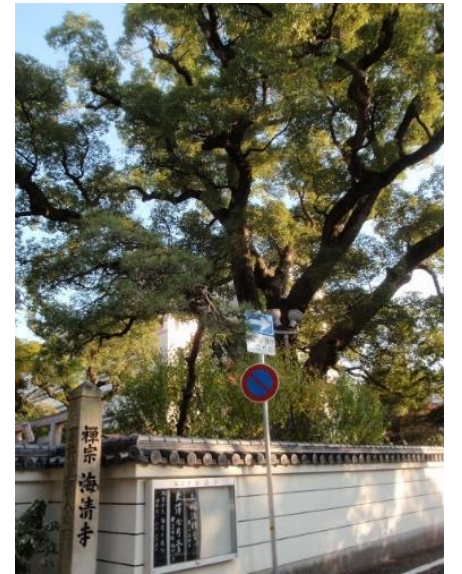
15. 宮水発祥の地記念碑



16. 白鷹禄水苑



17. 白鷹で喉を潤す。三種類の利き比べ。



18. 海清寺の大楠、樹齢600年。